心をはぐくみ 心を動かす教育の創造　一の宮小学校だより（NO. １４）Ｒ６. ３. ２２　文責：中村賀一

一小プライド（PRIDE）

夢に向かって未来に羽ばたけ「元気一小」「笑顔一小」仲間とともに自立･努力･感謝！

1年間を振り返って

「おはようございます！」朝から子どもの元気な挨拶が響き渡っている一の宮小学校です。先日、「令和５年度卒業式」を実施いたしました。そして、本日、１年生から５年生までの修了式を無事に実施することができました。

本年度、保護者及び地域の皆様のご支援により、教育活動を円滑に進めることができたことに対しまして、改めて感謝を申し上げます。

以下の内容は、修了式で修了証を渡す際、学校経営スローガンの「自立・努力・感謝」に基づき、各学級の子どもたちに話した内容です。

○挨拶、整理整頓など自分でできることが増え、授業中の発表の仕方などが成長した。（1 年）
○かけ算九九の暗唱など、一生懸命に取り組もうとする学習意欲が高まってきた。　（2 年）
○自分の考えをしっかり持ち、意欲的に発言し学び合おうとする姿勢が育ってきた。（3 年）
○互いに支え合う雰囲気や規律があり、高学年に向けた自覚が確実に育ってきた。　（4 年）
○自主活動が活性化し、来年度の一の宮小最高学年としての意識が高まってきた。　（5 年）
○学校の中心学年として、学習をはじめ各種行事において他学年のお手本となった。（6 年）
○学習内容を工夫し、力をつけるために一生懸命に努力することができた。（たんぽぽ１組）
○落ち着いた学習態度で、話し合いを大切にした自立への学びができた。　（たんぽぽ２組）
○自分でやろうとする姿が育ち、学習に向かう姿勢が着実に高まってきた。（たんぽぽ３組）
○国語や算数をはじめ、自分の力でやり遂げようとする力が育ってきた。　（たんぽぽ４組）
○自分の力に応じた学びの姿勢が高まり、学びに向かう心が育ってきた。　（たんぽぽ５組）
○自分を律しながら学習に向かう姿勢が育ち、行動面で成長が見られた。　（たんぽぽ６組）
○以前より落ち着いた学習態度が見られ、学習規律がより高まってきた。　（たんぽぽ７組）
○自分の力でできることがより増え、コミュニケーション力が育ってきた。（たんぽぽ８組）

また、本校には、他校にはない「学びの通級指導教室」および「ことばの通級指導教室」があり、多くの子どもたちが自分の力を伸ばすために、一生懸命に学ぶことができました。

また、修了式の当日には、地域の「一の宮っこ見守り隊」の方々にも参列いただき、子どもたちの様子を参観していただきました。

見守りを通して、地域の方々と子どもたちの心の距離が少しでも近くなっていくことを、切に願っています。ありがとうございました！

自立・努力・感謝

本年度、学校経営スローガンとして、「自立・努力・感謝」を示し、子どもたちの教育に携わってきました。ここで、お伝えしておきたいことは、今後、成長する子どもたちにとって、どんな力をつけさせていくかということです。

まず、自らのことを自らの力ですることができる力を育てていくことが大切です。「自分でできることは自分でする」といったことを積み重ね、何事にも自ら対応できる力を高めていく必要があります。このことは、学校と家庭が協力しながら行っていく必要があると思います。

例えば、家庭においても学校と同様に食事の準備や片付け、玄関の掃除、部屋の整理整頓など、基本的な生活習慣が形成されるようお願いします。ただ、そんなに簡単ではないという声があるかもしれません。そこで、可能な限り、「ほめる」ことを最終ゴールにして、子どものやる気を促す関わりをよろしくお願いします。

ある格言に、「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」という言葉があります。最終的には、いかにやる気を起こさせるかです。努力する姿、感謝する姿は、周りの大人（学校では先生、家庭では親）が後ろ姿で示し、それを子どもたちが自らの心でしっかり受け止めさせることが大切です。

子どもたちの飛躍を心から願っています！